

あかね

明石市立明石商業高等学校図書館発行



読書の
すすめ

「11人いる!」

萩尾望都 著

校長 宗石 理

高校の時に読んで印象に残っている本を紹介します。萩尾望都の「11人いる!」です。一九七五年の作品で某出版社の賞を受賞した漫画です。超難関の宇宙大学の入学最終試験会場に外部とコンタクトが不可能な宇宙船を舞台に、様々な星からやって来た十一人の受験生が繰り広げるストーリー。漂流を仮定した船内で、初対面の十一人が五十三日間過ごすことが合格の条件で、一人でも脱落すれば全員不合格、皆の協調性を見ようという試験です。外部との接触は許されず、緊急事態のみ連絡可という設定です。宇宙船の乗組員(受験生)は本来十人の筈が、なぜか十一人い

る!という最初から異常事態が始まります。もし乗組員が一名多いと連絡すれば、試験は中止その時点で全員不合格となるため、やむなく十一人での生活が始まります。

一名多いことに皆が疑心暗鬼になり、揉め事や対立が続く中、徐々に信頼関係が生まれ、友情や愛情も培われ、次から次に起こる非常事態(故障、伝染病、気温上昇など)を乗り越えようとする様子を描いています。魅力的な登場人物、綿密な構成、緊張感のある展開そして十一人という謎も最後に分かるという、漫画ですが当時本格的なSFと高い評価を受けました。

先日、紹介するため古本屋で探して何十年かぶりに再読しました。様々な危機に、受験生たちが自分で考え、判断して乗り越えようと行動する姿を見てほしいと思います。古さを感じさせない作品です。

「アルフレッド・アドラー 人生に革命が起きる100の言葉」

小倉 広 著
事務局長 山脇 健次

ここ数年は、ほとんど本を読まなくなりました。昨年もそうですが、この原稿を書くために明商図書館で数冊本を借りました。本を読む機会を与えてくれた「館報あかね」に感謝です。おもしろかった本を紹介したいと思います。

人は、いい人生を送ろうと生きていますが、この本は、心理学者アドラーの100の言葉を「すべてあなたが決めたこと」と「あらゆる悩みは対人関係に行き着く」などの項目に分け、読みやすく書かれています。その中で印象に残ったものを二つ紹介します。

「陰口を言われても、嫌われても、あなたが気にすることは無い。相手のどう感じるかは、相手の

「私のおすすめ」

教頭 橋本 浩二

課題だから人の思うことは変えられないし、どう思うかはその人の自由なのだから、気にせず自分が正しいと思うことを続けたい。

「幸福な人生を歩む人の性格は、必ずモンペンス(共通感覚)と一致している。歪んだ私論理に基づく性格では、幸せになることはできないだろう。」自分は大切でも独善的にならず周りの人のことも考える必要がある。

昨年の今頃は「竜馬がゆく」8巻を読み切り、「西郷の貌(かお)」、「幕末維新の不都合な真実」、「幕末維新の暗号」など幕末維新の本を読みあさっていました。今ではすっかり私からそのブームも去りました。が、相変わらず、文庫、新書、啓発本問わず身のまわりには本が散乱し、気分に合わせて3、4冊を並行して読み進めて

います。さて、みなさんに薦める本についてですが、この原稿の依頼がきてから慌てて考えて第一五回芥川賞受賞作「コンビニ人間」(村田沙耶香著)を読みました。サクッと3時間もあれば読み切れる非常に読みやすい内容です。主人公がおかしいのか、社会や周囲の人間がおかしいのか、普通って何なのかをちよつと考えてしまいました。あと、みなさんに紹介できるとしたら、この冬休みに「ぼくは明日、昨日のきみとデートする」を読みました。本屋でたまたま目について「どういうこと？」と興味を持ち購入して読みました。ネット上で調べればこの題名の意味はすぐわかる時代ですが、「タイムマシンか何か？」と想像しながら読み進め「うーむ・・・」となりました。後半は「何故そうなるのか」を理解するのが大変難しい内容でした。深く考えると矛盾が生じそうなの・・・これもサクッ

と面白かったですよ。映画化されていることは本の帯の宣伝でわかったのですが、さすがにこのタイトルの映画を映画館に見に行く勇氣はありませんでした。以上の2冊をお薦めとして紹介しておきます。

「神様のコードモ」
山田悠介 著

総務部 押部 涼太

日頃、本を全く読まない人に向けてこの本を紹介いたします。

皆さんは山田悠介という著者をご存じですか？代表作として「リアル鬼ごっこ」「親指がし」などがあり、どの作品もタイトルに目を奪われつついつい中身を読ちにさせてしまう作品ばかりです。その山田悠介の作品で本を読まない人でも読みやすいものが「神様のコードモ」で、特徴として1話3分で読める作品が42も詰まっています。

ます。ゾクツとする話、クソツとする話、考えさせられる話、感動する話、モヤツとする話。初めから読んでいくとストーリーが故に読み手の感情が次々と変わっていくので、不思議な感覚に陥ると思います。順番に読む必要がなすので初めから読むのが苦手な人は、気になったタイトルだけを読むのもいいでしょう。

私の好きな話に「最強キラキラネーム決定戦」「雄大」「タンポポ」「鬼退治」があります。少しでも気になった人はスマホを使う時間を少しでも割いて、読んでみてはいかがでしょうか。

「嫌われる勇氣」

岸見 一郎、古賀 史健 著

生徒指導部 小林健太郎

元々、本を読むのは苦手でしたが、ある方からこの本を薦めていただき読んでみました。

この本はバスケットボールの指導者講習会でも「是非一度読んでいただきたい本」でも紹介されています。この本は、フロイト、ユングと並び「心理学の三大巨頭」と称されるアルフレッド・アドラーの思想がまとめられた内容で、哲学者と青年との対話の中で紹介されています。

この中で印象に残った言葉を3つ紹介します。「大切なのはなにが与えられているかではなく、与えられたものをどう使うかである」、「人間の悩みは、すべて対人関係の悩みである」、「人生における最大の嘘、それは『いま、ここ』を生きないことです」

今、たくさんの方と対人関係の悩みがあると思います。この本では、「もし、この世界から対人関係がなくなったらしまえば、それこそ宇宙のなかただひとりだけが悩みなど生れやうがない。その代わりに、喜びもなにもない。」

「リーダー論」

野村 克也 著
一年二組担任 富本博司

と書かれています。この世界に生きている限り対人関係の悩みがあるのは当たり前なこと、いろいろな人に相談して解決していつか欲しいと思います。興味を持った方は是非読んでみてくださいます。なにかの参考になるかもしれないです。

なかなか忙しい毎日が続き、じっくり本と向き合う時間が持てないのですが、野村克也さんの本はよく店頭で並んでいるので目にした人もいるかもしれません。野村克也さんと言えば、プロ野球の世界で数々の記録を残した名捕手であり、ヤクルト、阪神、楽天では監督を勤められました。自分自身気分転換にバッテリーグレンターに行ったり空振りばかりで、逆にストレスが溜まって帰っ

てくるほど野球とは全く無縁ではありませんが、野村克也さんの書かれた本は野球の世界だけではなく、人との関係や組織の在り方など、会社や学校など人とかかわる仕事をしている人にとっては多くのヒントを得ることができま

この本は組織とリーダーのあり姿に注目して、過去の人生経験をもとに記述されています。当時は、東京都で4校目の勤務先で4度目の担任を務めている時期でありましたが、同じ東京都といえども下町地域と新興住宅地域では学校の雰囲気も違い、求められるものも違うことから、新たなヒントを得るべく、新鮮な気持ちで手にしたのを覚えています。高校生にはまだ難解な部分もあるかもしれませんが、人との接し方やかわり方など学ぶべきこととはあると思います。



「MISSION ミッション」元スターバックスCEOが教える働く理由

岩田 松雄 著
一年六組担任 中井 俊樹

勉強や部活動など、高校生活を精一杯送っている皆さんの多くは、卒業後に進学か就職するという道を選ぶと思います。進学する道を選ぶ人も、最終的には就職することになるかと思えます。皆さんは『働く』ということについて、深く考えたことがあるでしょうか？

この本は、私が3年前に手に取った本です。毎日のように学校に行き、授業をし、部活動をし、特に働く理由を求めていたわけではありませいたが、本屋さんに並んでいたのので買ってみました。

作者は皆さんも知っている、スターバックスの元CEO(最高経営責任

者)です。いくつかの章に分かれているのですが、第3章では『スターバックスはコーヒーを売っているのではない』と明確に書かれてあります。いやいや、スターバックスはコーヒーを売っているのに、何を書いているのだから？と気になりませんか？

この本は、『働くこと』について、少し違った視点から学び取ることが出来る本です。私自身もこの本を読んで『働き方』が変わりました。気になった人は、ぜひ読んでみてください。

「みをつくし料理帖」
高田 郁 著
保健部 松浦 つかさ

私にとって読書とは自分を高めるためや、教養を深めるためでもなくズバリ、「現実逃避」のためです。基本的に昔から読書は好きなのですが、嫌な事があった時や気分が落ち込んだ時に本を読むと少し「現実」に距離を置くことがで

き、私にとって本は気持ちをしなすための役目があります。

そして、ここ最近の私のブーム本は作家「高田郁」さんの本です。この作家にハマった最初の本が「みをつくし料理帖」でした。時代は江戸。主人公が料理人「漣」が知恵と努力で料理人と

して働き、さまざまな人と出会い成長していく小説です。女一人で働く姿に勇気をもらいます。また、漣が他人と比べることなく、自分が今手にもっている幸せに感謝して生きていく姿は、私自身もつと周囲に感謝しなければならぬと反省させられます。文庫本全十巻からなるこの小説は短編型の構成になっていて、とても読みやすくオススメです。

高田郁さんの他の小説も女のひとが困難な時代を一生懸命に誠実に生き抜く姿が丁寧に描かれている作品が多く、読み終わった後とても満たされた気持ちになります。

さしてくれれます。みなさんも、気持ちをリセットさせたい時は「読書」も一つの方法としてオススメです。

「本と子ども」
事務局 内藤 一成

一歳の娘が私の膝の上で座り、絵本を無理やり渡してきます。

「読め」と言わんばかりの態度で、読んであげると「アッパー」、「バタ」と大声を上げて喜びます、ちなみにアンパンマンです。

今は、本の内容よりキラキラターや背景色が気になるようです。ですので、「キ」、「アカ」、「アオーツ」と三色だけですが言葉を発します。

通っている幼児教室では、絵本にシールを貼って集中力を高めること、手先を器用に動かせるようにすることがカリキュラムに組み込まれています。

このように本は知能と

運動機能を向上させる
簡単で身近なものです。
この先、難解な内容に
なるにつれ、私にも分か
らない知識が本で備わ
る、そんな娘に、本と
もに自己研鑽、切磋琢磨
しながら成長していっ
てほしいと思います。

余談ですが、私が明商
在籍時、図書室に行った
ことは皆無でした、立場
が変わり、今度は職員と
して行ってみると、良い
雰囲気です、すばらしい書
籍が揃っていると感じ
ました。

「藪の中」
芥川龍之介 著
事務局 藤原 早紀

有名な芥川龍之介の作
品なので読んだことが
ある方も多いと思いま
すが、今回はあえておす
めさせていたくださ
います。

この作品は、藪の中で
いくつもの証拠と、男が
殺されているのを発見

する場面から始まりま
す。その事件について目
撃者や当事者七名が
各々証言していく中、証
言が食い違っています。筋
が通らないのです。霊媒
師を呼んで死んだ男本
人にさえ証言をしても
らいますが、それもまた
筋が通らないのです。

そんな支離滅裂な証言
が続く最終的に誰が犯
人か分からないまま小
説は終わっていく、とい
う何とも後味の悪くモ
ヤモヤとしたものが胸
の中に留まった状態で
結末を迎えます。

私はそのモヤモヤとし
たものを再び味わいた
くなり、本作を読み返し
たり、答えの出ない考察
を繰り返してあてもな
いこうでもないと思ひ
苦しんだりするのが好
みます。

何度読み返しても感動
が薄れない作品は幾つ
かあれど、何度読み返
しても答えの出ない小説
というのは貴重ではな
いでしょうか。
もし、まだ読んだこと
がない方がいれば、短
編小説で非常に短い文

ですし、著作権が切れて
いる為青空文庫などで
気軽に読めるので是非
とも読んでみてほしい
作品です。
そしてこのモヤモヤを
一度は味わってほしい
と思います。

「チエーザレ・ボルジ
ア あるいは優雅な
る冷酷」
塩野 七生 著
事務局 杉本 扶美子

彼との出会いは高校時
代、通学していた学校の
図書館でした。その時は、
彼の妹ルクレツィアを
中心に書かれた本で、彼
の存在は、彼女の脇役と
して描かれていました。
それから、数年後社会
人となり、街なかのある
本屋で彼と再会しまし
た。

塩野氏の描写力により
彼の動きが力強く伝わ
ってきます。十五世紀後
半、文化、芸術の花を咲
かせたイタリアでは同
時に動乱の時代を迎え
ます。当時のイタリアは
日本の戦国時代のように

に、いくつにも国が分か
れて治められており、国
家体制が、強力ではなく、
力を持つてきた近隣の
国々に狙われ始めた時
でした。そんな時、ロー
マでは新たに新法王が
選出され、法王の息子チ
エーザレが、父に呼び出
され旅立つところから
物語が展開していきま
す。

数年後、イタリア統一
の野望に向けて行動す
る彼は、わずか四年ほど
で全土のほとんどを手中
にする快進振りでした
が、父法王と共に突然
病に倒れ、後ろ盾であつ
た父を亡くした事で、築
き上げたものが崩れて
いく憂き目を見ます。そ
の後、混乱する母国を彼
に弟殺しの嫌疑の為、ス
ペインに送還、投獄、脱
獄して妻の兄のナバー
ル王のもとに身を寄せ、
王の為にスペイン人と
戦いますが、不運にも敵
に囲まれて三十一歳の
生涯を終えました。
「皇帝か無か」彼の軍
旗の文字の如く彼の軌
跡は全て消えました。し
かし、彼の精神力の強さ、

「あふれる愛」
マザーテレサ 著
事務局 隅田 雅也

最後まで夢をあきらめ
ずに戦った姿は、人々に
力強さを与えていくと
思います。

マザーテレサは、カト
リック修道会で修道女
になり、十八歳の時宣教
で貧しい人々の中のも
つとも貧しい人につか
えると誓いを立て、イン
ドのスラム(カルカッタ)
で病院や貧困の人々の
為に一生をささげた女
性です。彼女をよく表し
ているのは、ノーベル平
和賞でのスピーチです。
「私は皆さんが考えて
おられるようなノーベ
ル平和賞の受賞者には
あたいません。でも、
誰からも見捨てられ、愛
に飢え、死にひんしてい
る世界の中でも貧しい
人々にかわって賞を受
けました。私には、受賞
の晩さん会は不要です。
どうか、その費用を貧し
い人たちのためにお使
いください。私にはあた



図書館より

六十二回生の皆さん、卒業おめでとうござい
ます。恒例の卒業式前
の三学年がそろった年
間ランキングです。



えられるのは、祈りの場
だけでしかないのです
から・・・私利私
欲なく誰にでも平等だ
った女性です。ぜひ、読
んでみてください。

順位	人数	ジャンル	氏名
一位	1の4		S君
二位	2の1	保健	M先生
三位	3の4		N君
四位	2の1		Mさん
五位	2の1	国語	K先生
六位	2の1	家庭	K先生
六位	2の1	商業	N先生
八位	2の5		Kさん
九位	2の3	体育	T先生
十位	2の4	国語	M先生
十位	2の4	事務	Yさん
十三位	2の4		I君
十三位	2の7		Oさん
十三位	2の7		H君
十三位	3の3		Hさん



順位	人数	ジャンル	氏名
一位	1の4		S君
二位	2の1		M先生
三位	3の4		N君
四位	1の1		Mさん
五位	2の5		K先生
六位	2の4		N先生
七位	1の6		Kさん
八位	1の3		T先生
八位	2の7		M先生
八位	3の3		Yさん

(二月二日調べ)



「あかね」第一一―号
をお届けします。「読書
のすすめ」には、おすす
めの本の紹介や感想だ
けでなく、読書体験にま
つわる思い出やエピン
ードなど、様々な切り口
で語ってくださった原
稿が集まりました。今年
度、新しく着任されまし
た先生方等を中心にお
願いに上がりましてと
ころ、快く承諾いただき
誠にありがとうございました。
の新たな本との出会い、
そして新たな世界との
出会いのきっかけにな
りますことを願います。
また、今年度の貸出に
関するランキングを掲
載しています。

(図書館長)



編 集 後 記